

学校コード F123310106791
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
愛知学泉大学 家政学部 管理栄養学科 (必要がある場合) ○○専攻

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人安城学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	
職名・氏名	ジムチョウ ロクゴキョウジ 事務長・六郷恭二
電話番号	0564-34-1212
(夜間)	090-1751-5560
e-mail	alex@gakusen.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

家政学部

<管理栄養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人安城学園

(2) 大学名

愛知学泉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒444-8520

愛知県岡崎市舳越町字上川成28番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(テラベ アキラ) 寺部 暁 (平成8年5月)		
学長	(テラベ アキラ) 寺部 暁 (平成28年4月)		
学部長	(アンドウ アケミ) 安藤 明美 (平成26年4月)		
学科長等	(タケムラ ヒトミ) 竹村 ひとみ (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる『留学ビザ』）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
家政学部 管理栄養学科 学士(家政学)	家政関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	80	80	80	80	80	80	80	80	0.98倍	—倍	0.83倍	—倍	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	181	219	260	213	(-)	(-)	(-)	(-)						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	180	218	258	212	(-)	(-)	(-)	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	156	197	198	185	(-)	(-)	(-)	(-)						
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	66	75	88	85	(-)	(-)	(-)	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.82	0.93	1.10	1.06	-	-	-	-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	61 [—] (—)	— [—] (—)	71 [—] (—)	— [—] (—)	89 [—] (—)	— [—] (—)	88 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	60 [—] (—)	— [—] (—)	73 [—] (—)	— [—] (—)	74 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	55 [—] (—)	— [—] (—)	68 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	55 [—] (—)	— [—] (—)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 [—] (—)	[] ()	131 [—] (—)	[] ()	217 [—] (—)	[] ()	285 [—] (—)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	66人	5人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	5人	0人	進路変更(3人)、体調不良(1人)、転学科(1人)
令和3年度	139人	8人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3人	0人	進路変更(2人)、除籍(1人)
			令和3年度	5人	0人	進路変更(4人)、体調不良(1人)
令和4年度	218人	21人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	進路変更(1人)、除籍(1人)
			令和3年度	7人	0人	進路変更(6人)、体調不良(1人)
			令和4年度	12人	0人	進路変更(11人)、体調不良(1人)
令和5年度	285人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	2人	0人	進路変更(1人)、除籍(1人)
			令和5年度	0人	0人	
合計		36人		36人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{66} = \boxed{7.57} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{139} = \boxed{5.75} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{21}{218} = \boxed{9.63} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{285} = \boxed{0.7} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎栄養学Ⅰ	1後	2			1						
	基礎栄養学Ⅱ	2前	2			1						
	基礎栄養学実験	2後	1			1				1		
	食事摂取基準論	2前	1			1		1				
	栄養管理プロセス論	2前	1					1				
	応用栄養学Ⅰ	2前	2			1						
	応用栄養学Ⅱ	2後	2			1						
	応用栄養学実習	2後	1			1				1		
	栄養教育論Ⅰ	2後	2			1						
	栄養教育論Ⅱ	3前	2				1					
	栄養教育論実習Ⅰ	3前	1			1					1	
	栄養教育論実習Ⅱ	3後	1				1				1	
	栄養カウンセリング論	3後	2				1					1
	臨床栄養学Ⅰ	2後	2				1					
	臨床栄養学Ⅱ	3前	2					1				
	臨床栄養学Ⅲ	3後	2				1					
	臨床栄養学実習	3前	1				1				1	
	栄養評価管理実習	3後	1					1			1	
	在宅栄養管理論	3後	2					1				
	公衆栄養学Ⅰ	2後	2					1				
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2					1				
	公衆栄養学実習	3前	1					1			1	
	食事設計演習	2前	1					1				
	給食経営管理論Ⅰ	2前	2				1					
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2				1					
	給食経営管理実習	3前	1				1				1	
	栄養実習事前・事後演習	3通	1				1	2	3			
	臨床総合演習	4前	1				2	2	2			
	臨床実習A(給食基礎)	3後	1				1		2			
	臨床実習B(公衆栄養)	3後	1				1		1			
	臨床実習C(臨床)	4前	2					2				
	小計(31科目)						4	3	4	0	5	0
	アツプグレード分野	食物とアレルギー	3前	2			1					
健康栄養情報処理演習		3後	1					1		1		
商品開発論		3後	2			1						
健康運動学		2前	2				1					
健康運動演習		2後	1			1					1	
健康運動実技A(運動プログラム)		2前	1								1	
健康運動実技B(ウォーキング&ジョギング)		2後	1								1	
健康運動実技C(エアロビクスダンス)		3前	1								1	
健康運動実技D(ヨガ・ストレッチ&エクササイズ)		3前	1								1	
小計(9科目)						2	1	1	0	1	2	
キャリア教育分野	管理栄養士への道	1前	1			1	1	2				
	基礎キャリア教育	2後	1			1	4	1				
	専門実践実習(疾病予防)	3通	1			2	2	1				
	専門実践実習(疾病予防)	3通	1			2	1	2				
	専門実践実習(食育・食環境)	3通	1			2	2					
小計(5科目)					2	5	3	0	0	0		
管理栄養士特論	管理栄養士特論A	3後	2			5	5	4	1			
	管理栄養士特論B	4前	2			5	5	4	1			
	管理栄養士特論C	4後	3			5	5	4	1			
	小計(3科目)					5	5	4	1	0	0	
卒業研究	3後・4前	4			6	5	4	1				
小計(1科目)		4	0	0	6	5	4	1	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎栄養学Ⅰ	1後	2			1						
	基礎栄養学Ⅱ	2前	2			1						
	基礎栄養学実験	2後	1			1					1	
	食事摂取基準論	2前	1			1						
	栄養管理プロセス論	2前	1					1				
	応用栄養学Ⅰ	2前	2			1						
	応用栄養学Ⅱ	2後	2			1						
	応用栄養学実習	2後	1			1					1	
	栄養教育論Ⅰ	2後	2			1						
	栄養教育論Ⅱ	3前	2								1	
	栄養教育論実習Ⅰ	3前	1			1					1	
	栄養教育論実習Ⅱ	3後	1				1				1	
	栄養カウンセリング論	3後	2				1					1
	臨床栄養学Ⅰ	2後	2				1					
	臨床栄養学Ⅱ	3前	2					1				
	臨床栄養学Ⅲ	3後	2				1					
	臨床栄養学実習	3前	1				1					1
	栄養評価管理実習	3後	1					1			1	
	在宅栄養管理論	3後	2					1				
	公衆栄養学Ⅰ	2後	2							1		
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2							1		
	公衆栄養学実習	3前	1							1		1
	食事設計演習	2前	1							1		
	給食経営管理論Ⅰ	2前	2				1					
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2				1					
	給食経営管理実習	3前	1				1				1	
	栄養実習事前・事後演習	3通	1				1	2	2	1		
	臨床総合演習	4前	1				2	2	2	1		
	臨床実習A(給食基礎)	3後	1				1	1	1			
	臨床実習B(公衆栄養)	3後	1				1	1	1			
	臨床実習B(給食応用)	3後	1				1	1	1			
	臨床実習C(臨床)	4前	2				1				1	
	小計(32科目)						5	2	2	2	1	5
アツプグレード分野	食物とアレルギー	3前	2			1						
	健康栄養情報処理演習	3後	1						1		1	
	商品開発論	3後	2			1						
	健康運動学	2前	2				1					1
	健康運動演習	2後	1			1						
	健康運動実技A(運動プログラム)	2前	1									1
	健康運動実技B(ウォーキング&ジョギング)	2後	1									1
	健康運動実技C(エアロビクスダンス)	3前	1									1
	健康運動実技D(ヨガ・ストレッチ&エクササイズ)	3前	1									1
	小計(9科目)						2	0	1	0	1	3
キャリア教育分野	管理栄養士への道	1前	1			1	1	2				
	基礎キャリア教育	2後	1			1	4	1				
	専門実践実習(疾病予防)	3通	1			2	2	1			1	
	専門実践実習(疾病予防)	3通	1			2	1	2				
	専門実践実習(食育・食環境)	3通	1			2	2					
小計(5科目)					2	5	3	2	1	0	0	
管理栄養士特論	管理栄養士特論A	3後	2			7	4	2	2			
	管理栄養士特論B	4前	2			7	4	2	2			
	管理栄養士特論C	4後	3			7	4	2	2			
	小計(3科目)					7	4	2	2	0	0	
卒業研究	3後・4前	4			6	5	4	1				
小計(1科目)		4	0	0	6	5	4	1	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
栄養教諭に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2				1			
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2				1			
	教育原理	1後			2							1
	教職入門	1前			2							1
	教育制度論	1後			2							1
	教育心理学	1後			2							1
	特別支援教育論	2後			2							1
	教育課程論	3前			2							1
	道徳教育の理論と実践	3後			2							1
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導論	2後			2							1
	教育相談 (わいわいがくをむ。)	3後			2							1
	実習指導	4前			1				1			
	栄養教育実習	4前			1				1			
教職実践演習 (栄養教諭)	4後			2				1			1	
教職特別講座 (栄養教諭)	3後			1				1				
小計 (18科目)	—	0	0	33	0	0	1	0	0	0	6	
合計 (120科目)	—	94	61	33	6	5	4	1	5	20		
卒業要件及び履修方法												
<p>卒業要件: 共通科目24単位 (うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位以上)、専門科目84単位 (うち必修科目78単位) を修得, 総計124単位以上修得すること。</p> <p>資格要件: 管理栄養士受験資格 基礎科目24単位 (うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位) 以上、専門科目110単位 (うち必修科目84単位, 選択科目26単位) 以上。</p> <p>資格要件: 食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する規定科目40単位。</p> <p>資格要件: 健康運動実践指導者受験資格 健康運動実践指導者に関する必修科目9単位。</p> <p>資格要件: 商品プランナー資格 商品プランナーに関する必修科目2単位。</p> <p>資格要件: 栄養教諭 栄養教諭に関する必修科目27単位。</p> <p>(履修科目の登録の上限: 48単位 (年間))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
栄養教諭に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2				1			
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2				1			
	教育原理	1後			2							1
	教職入門	1前			2							1
	教育制度論	1後			2							1
	教育心理学	1後			2							1
	特別支援教育論	2後			2							1
	教育課程論	3前			2							1
	道徳教育の理論と実践	3後			2							1
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導論	2後			2							1
	教育相談 (わいわいがくをむ。)	3前			2							1
	実習指導	4前			1				1			
	栄養教育実習	4前			1				1			
教職実践演習 (栄養教諭)	4後			2				1			1	
教職特別講座 (栄養教諭)	3後			1				1				
小計 (18科目)	—	0	0	33	0	0	1	0	0	0	7	
合計 (121科目)	—	94	62	33	6	5	4	1	5	20		
卒業要件及び履修方法												
<p>卒業要件: 共通科目24単位 (うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位以上)、専門科目84単位 (うち必修科目78単位) を修得, 総計124単位以上修得すること。</p> <p>資格要件: 管理栄養士受験資格 基礎科目24単位 (うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位) 以上、専門科目110単位 (うち必修科目84単位, 選択科目26単位) 以上。</p> <p>資格要件: 食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する規定科目40単位。</p> <p>資格要件: 健康運動実践指導者受験資格 健康運動実践指導者に関する必修科目9単位。</p> <p>資格要件: 商品プランナー資格 商品プランナーに関する必修科目2単位。</p> <p>資格要件: 栄養教諭 栄養教諭に関する必修科目27単位。</p> <p>(履修科目の登録の上限: 48単位 (年間))</p>												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	教養分野	潜在能力の開発	1前	2		1							
		心理学	1前		2								1
		人間関係とコミュニケーション	2前		2								1
		社会学	3後		2								1
		生活経済論	1後	2									1
		日本国憲法	3前		2								1
		生活学概論	1後	2									1
		家族論	3前		2								1
		情報リテラシーⅠ	1前		1							1	1
		情報リテラシーⅡ	1後		1							1	1
		※※へつなくアウトリーチⅠ	1前	1			5	7	2	1			
		※※へつなくアウトリーチⅠ	1前	1			5	7	2	1			
		※※へつなくアウトリーチⅡ	2前		1		1						
	小計(13科目)	—	10	11	0	6	7	2	1	2	7		
	保健体育分野	運動の科学	1前		2								1
		体育実技	1後		1								1
		小計(2科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	2	
	外国語分野	英語	1前		1								1
		英会話	1後		1								1
		中国語	2前		1								1
		ハングル	2後		1								1
		日本語Ⅰ(未開講)	1前		1								1
		日本語Ⅱ(未開講)	1後		1								1
	小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	
	その他	単位認定A			1								
		単位認定B			1								
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
専門科目	専門基礎分野	生物学入門	1前	2		1							
		化学入門	1前	2					1				
		化学基礎実験	1前	1					1	1			
		栄養英語	2前	1								1	
		公衆衛生学Ⅰ	1後	2			1						
		公衆衛生学Ⅱ	2前	2			1						
		健康管理概論	1前	2			1						
		公衆衛生学実習	2後	1			1				1		
		解剖生理学Ⅰ	1前	2			1						
		解剖生理学Ⅱ	1後	2			1						
		解剖生理学実習Ⅰ	1後	1			1				1		
		解剖生理学実習Ⅱ	2前	1			1				1		
		生化学Ⅰ	1前	2			1						
		生化学Ⅱ	1後	2			1						
		生化学実験	2前	1			1				1		
	臨床医学実習	3後	1			1				1			
	臨床医学Ⅰ	2後	2			1							
	臨床医学Ⅱ	3前	2			1							
	臨床医学Ⅲ	3後	2			1							
	運動生理学	2後	2								1		
	調理学実習Ⅰ	1前	1			1				1			
	調理学実習Ⅱ	1後	1			1				1			
	調理科学	1後	2			1							
	食品学Ⅰ	1前	2			1							
	食品学Ⅱ	1後	2			1							
	食品学Ⅲ	2前	2			1							
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1				1			
食品学実験Ⅱ	2前	1			1		1		1				
食品衛生学	2後	2					1		1				
食品衛生学実験	2後	1					1	1	1				
小計(30科目)	—	37	11	0	3	3	1	1	5	2			

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	教養分野	潜在能力の開発	1前	2		1						
		心理学	1前		2							1
		人間関係とコミュニケーション	2前		2							1
		社会学	3後		2							1
		生活経済論	1後	2								1
		日本国憲法	3前		2							1
		生活学概論	1後	2								1
		家族論	3前		2							1
		情報リテラシーⅠ	1前		1							1
		情報リテラシーⅡ	1後		1							1
		※※へつなくアウトリーチⅠ	1前	1			5	7	2	1		
		※※へつなくアウトリーチⅠ	1前	1			5	7	2	1		
		※※へつなくアウトリーチⅡ	2前		1		1					
	小計(13科目)	—	10	11	0	6	7	2	1	2	8	
	保健体育分野	運動の科学	1前		2							1
		体育実技	1後		1							1
		小計(2科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	1
	外国語分野	英語	1前		1							1
		英会話	1後		1							1
		中国語	2前		1							1
		ハングル	2後		1							1
		日本語Ⅰ(未開講)	1前		1							1
		日本語Ⅱ(未開講)	1後		1							1
	小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3	
	その他	単位認定A			1							
		単位認定B			1							
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0
専門科目	専門基礎分野	生物学入門	1前	2						1		
		化学入門	1前	2							1	
		化学基礎実験	1前	1						1	1	
		栄養英語	2前	1								1
		公衆衛生学Ⅰ	1後	2				1				
		公衆衛生学Ⅱ	2前	2				1				
		健康管理概論	1前	2				1				
		公衆衛生学実習	2後	1				1			1	
		解剖生理学Ⅰ	1前	2				1				
		解剖生理学Ⅱ	1後	2				1				
		解剖生理学実習Ⅰ	1後	1				1			1	
		解剖生理学実習Ⅱ	2前	1				1			1	
		生化学Ⅰ	1前	2				1				
		生化学Ⅱ	1後	2				1				
		生化学実験	2前	1				1			1	
	臨床医学実習	3後	1				1			1		
	臨床医学Ⅰ	2後	2				1					
	臨床医学Ⅱ	3前	2				1					
	臨床医学Ⅲ	3後	2				1					
	運動生理学	2後	2								1	
	調理学実習Ⅰ	1前	1				1			1		
	調理学実習Ⅱ	1後	1				1			1		
	調理科学	1後	2				1					
	食品学Ⅰ	1前	2				1					
	食品学Ⅱ	1後	2				1					
	食品学Ⅲ	2前	2				1					
	食品学実験Ⅰ	1後	1				1			1		
食品学実験Ⅱ	2前	1				1		1	1			
食品衛生学	2後	2						1	1			
食品衛生学実験	2後	1						1	1			
小計(30科目)	—	37	11	0	3	3	1	1	5	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
												授	授	師
栄養教諭に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2				1					
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2				1					
	教育原理	1後			2								1	
	教職入門	1前			2								1	
	教育制度論	1後			2								1	
	教育心理学	1後			2								1	
	特別支援教育論	2後			2								1	
	教育課程論	3前			2								1	
	道徳教育の理論と実践	3後			2								1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2								1	
	特別活動の指導法	3後			2								1	
	教育方法論	2後			2								1	
	生徒指導論	2後			2								1	
	教育相談 (ゆめろぐを含む。)	3前			2								1	
	実習指導	4前			1				1					
栄養教育実習	4前			1				1						
教職実践演習 (栄養教諭)	4後			2				1					1	
教職特別講座 (栄養教諭)	3後			1				1						
小計 (18科目)	—	0	0	33	0	0	1	0	0	0	0	0	7	
合計 (121科目)			—	94	62	33	6	5	4	1	5	5	20	
卒業要件及び履修方法														
<p>卒業要件:共通科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位以上)、専門科目84単位(うち必修科目78単位)を修得, 総計124単位以上修得すること。</p> <p>資格要件:管理栄養士受験資格 基礎科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位)以上、専門科目110単位(うち必修科目84単位, 選択科目26単位)以上。</p> <p>資格要件:食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する規定科目40単位。</p> <p>資格要件:健康運動実践指導者受験資格 健康運動実践指導者に関する必修科目9単位。</p> <p>資格要件:商品プランナー資格 商品プランナーに関する必修科目2単位。</p> <p>資格要件:栄養教諭 栄養教諭に関する必修科目27単位。</p> <p>(履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p>														

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
												授	授	師
栄養教諭に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2				1					
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2				1					
	教育原理	1後			2								1	
	教職入門	1前			2								1	
	教育制度論	1後			2								1	
	教育心理学	1後			2								1	
	特別支援教育論	2後			2								1	
	教育課程論	3前			2								1	
	道徳教育の理論と実践	3後			2								1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2								1	
	特別活動の指導法	3後			2								1	
	教育方法論	2後			2								1	
	生徒指導論	2後			2								1	
	教育相談 (ゆめろぐを含む。)	3後			2								1	
	実習指導	4前			1				1					
栄養教育実習	4前			1				1						
教職実践演習 (栄養教諭)	4後			2				1					1	
教職特別講座 (栄養教諭)	3後			1				1						
小計 (18科目)	—	0	0	33	0	0	1	0	0	0	0	0	6	
合計 (121科目)			—	94	62	33	6	5	4	1	5	5	20	
卒業要件及び履修方法														
<p>卒業要件:共通科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位以上)、専門科目84単位(うち必修科目78単位)を修得, 総計124単位以上修得すること。</p> <p>資格要件:管理栄養士受験資格 基礎科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位)以上、専門科目110単位(うち必修科目84単位, 選択科目26単位)以上。</p> <p>資格要件:食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する規定科目40単位。</p> <p>資格要件:健康運動実践指導者受験資格 健康運動実践指導者に関する必修科目9単位。</p> <p>資格要件:商品プランナー資格 商品プランナーに関する必修科目2単位。</p> <p>資格要件:栄養教諭 栄養教諭に関する必修科目27単位。</p> <p>(履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p>														

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
学部共通科目	潜在能力の開発	1前	2			1						
	心理学	1前		2							1	
	人間関係とコミュニケーション	2前		2							1	
	社会学	3後		2							1	
	生活経済論	1後	2								1	
	日本国憲法	3前		2							1	
	生活学概論	1後	2								1	
	家族論	3前	2								1	
	情報リテラシーⅠ	1前		1						1	1	
	情報リテラシーⅡ	1後		1						1	1	
	健康へのリスクマネジメント	1前	1			5	5	4	1			
	未来へつなぐアウトリーチⅠ	1前	1			5	5	4	1			
	未来へつなぐアウトリーチⅡ	2前		1		1						
	小計(13科目)	—	10	11	0	6	5	4	1	2	8	
	保健体育分野	運動の科学	1前		2							1
		体育実技	1後		1							1
		小計(2科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	1
	外国語分野	英語	1前		1							1
		英会話	1後		1							1
		中国語	2前		1							1
ハングル		2後		1							1	
日本語Ⅰ(未開講)		1前		1							1	
日本語Ⅱ(未開講)		1後		1							1	
小計(6科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3		
その他	単位認定A			1								
	単位認定B			1								
小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0		
専門科目	生物学入門	1前	2				1					
	化学入門	1前	2						1			
	化学基礎実験	1前	1						1	1		
	栄養英語	2前	1								1	
	公衆衛生学Ⅰ	1後	2					1				
	公衆衛生学Ⅱ	2前	2					1				
	健康管理概論	1前	2					1				
	公衆衛生学実習	2後		1				1		1		
	解剖生理学Ⅰ	1前	2				1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	2				1					
	解剖生理学実習Ⅰ	1後	1				1			1		
	解剖生理学実習Ⅱ	2前	1				1			1		
	生化学Ⅰ	1前	2			1						
	生化学Ⅱ	1後	2			1						
	生化学実験	2前		1		1				1		
	臨床医学実習	3後		1		1				1		
	臨床医学Ⅰ	2後	2			1						
	臨床医学Ⅱ	3前		2		1						
	臨床医学Ⅲ	3後		2		1						
	運動生理学	2後		2							1	
	調理学実習Ⅰ	1前	1				1			1		
	調理学実習Ⅱ	1後	1				1			1		
	調理科学	1後		2			1					
	食品学Ⅰ	1前	2			1						
	食品学Ⅱ	1後	2			1						
	食品学Ⅲ	2前	2			1						
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1				1		
食品学実験Ⅱ	2前	1				1			1			
食品衛生学	2後	2					1					
食品衛生学実験	2後	1					1		1			
小計(30科目)	—	37	11	0	3	3	1	1	5	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	基礎栄養学Ⅰ	1後	2			1				
	基礎栄養学Ⅱ	2前		2			1			
	基礎栄養学実験	2後	1			1			1	
	食事摂取基準論	2前	1			1				
	栄養管理プロセス論	2前		1			1			
	応用栄養学Ⅰ	2前	2			1				
	応用栄養学Ⅱ	2後	2			1				
	応用栄養学実習	2後	1			1			1	
	栄養教育論Ⅰ	2後	2			1				
	栄養教育論Ⅱ	3前	2				1			
	栄養教育論実習Ⅰ	3前	1			1				1
	栄養教育論実習Ⅱ	3後		1			1			1
	栄養カウンセリング論	3後	2				1			
	臨床栄養学Ⅰ	2後	2				1			
	臨床栄養学Ⅱ	3前	2					1		
	臨床栄養学Ⅲ	3後	2				1			
	臨床栄養学実習	3前	1				1			1
	栄養評価管理実習	3後		1				1		1
	在宅栄養管理論	3後	2					1		
	公衆栄養学Ⅰ	2後	2					1		
	公衆栄養学Ⅱ	3前	2					1		
	公衆栄養学実習	3前	1					1		1
	食事設計演習	2前	1					1		
	給食経営管理論Ⅰ	2前	2			1				
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2			1				
	給食経営管理実習	3前	1			1				1
	栄養実習事前・事後演習	3通	1			1	2	3		
	臨床総合演習	4前	1			2	2	2		
	臨地実習A(給食基礎)	3後		1				2		
	臨地実習B(公衆栄養)	3後		1		1		1		
	臨地実習B(給食応用)	3後		1		1		1		
	臨地実習C(臨床)	4前		2			2			
小計(32科目)					4	3	4	0	5	0
アップグレード分野	食物とアレルギー	3前		2		1				
	健康栄養情報処理演習	3後	1					1		1
	商品開発論	3後		2		1				
	健康運動学	2前	2			1				
	健康運動演習	2後		1		1				1
	健康運動実習A(運動プログラム)	2前		1						1
	健康運動実習B(ウォーキングとジョギング)	2後		1						1
	健康運動実習C(エアロビクスダンス)	3前		1						1
	健康運動実習D(水泳)	3前		1						1
小計(9科目)					2	1	1	0	1	2
キャリア教育分野	管理栄養士への道	1前	1			1	1	2		
	基礎キャリア教育	2後	1			1	4	1		
	専門実践実習(疾病診療・高齢化対応)	3通		1			2	1		
	専門実践実習(疾病予防)	3通		1		2	1			
	専門実践実習(食育・食環境)	3通		1			2	2		
小計(5科目)					2	5	3	0	0	0
管理栄養士特論	管理栄養士特論A	3後		2		5	5	4	1	
	管理栄養士特論B	4前		2		5	5	4	1	
	管理栄養士特論C	4後		3		5	5	4	1	
	小計(3科目)					5	5	4	1	0
卒業研究	卒業研究	3後・4前	4			6	5	4	1	
	小計(1科目)		4	0	0	6	5	4	1	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
栄養教諭に関する科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2				1		
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2				1		
	教育原理	1後			2						1
	教職入門	1前			2						1
	教育制度論	1後			2						1
	教育心理学	1後			2						1
	特別支援教育論	2後			2						1
	教育課程論	3前			2						1
	道徳教育の理論と実践	3後			2						1
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3後			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	2後			2						1
	教育相談(わいわいを含む。)	3後			2						1
	実習指導	4前			1			1			
	栄養教育実習	4前			1			1			
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2			1			1
	教職特別講座(栄養教諭)	3後			1			1			
小計(18科目)	—	0	0	33	0	0	1	0	0	6	
合計(121科目)		—	94	62	33	6	5	4	1	5	20

卒業要件及び履修方法

卒業要件: 共通科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位以上)、専門科目84単位(うち必修科目78単位)を修得, 総計124単位以上修得すること。

資格要件: 管理栄養士受験資格 基礎科目24単位(うち必修科目10単位, 外国語分野必修選択2単位)以上、専門科目110単位(うち必修科目84単位, 選択科目26単位)以上。

資格要件: 食品衛生管理者および食品衛生監視員任用資格 食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する規定科目40単位。

資格要件: 健康運動実践指導者受験資格 健康運動実践指導者に関する必修科目9単位。

資格要件: 商品プランナー資格 商品プランナーに関する必修科目2単位。

資格要件: 栄養教諭 栄養教諭に関する必修科目27単位。

(履修科目の登録の上限: 48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<管理栄養士養成施設の内容変更承認申請に伴う指摘により変更した。(厚生労働省)>
 ・ 科目の分割 「臨地実習B(公衆栄養・給食応用)」を「臨地実習B(公衆栄養)」「臨地実習B(給食応用)」に分割。

【令和3年度】

・ 担当者変更により、「未来をつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来をつなぐアウトリーチⅠ」「管理栄養士特論A・B・C」「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授5」「講師4」から「准教授7」「講師2」に変更。

・ 担当者変更により、「基礎キャリア教育」の専任教員等の配置を「准教授4」「講師1」から「准教授5」に変更。

・ 担当者変更により、「栄養実習事前・事後演習」の専任教員等の配置を「准教授2」「講師3」から「准教授3」「講師2」に変更。

・ 担当者変更により、「臨床総合演習」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「講師1」から「教授1」「准教授4」に変更。

・ 担当者変更により、専門実践演習(疾病治療・重症化予防)の専任教員等の配置を「准教授2」「講師1」から「准教授3」に変更。

・ 担当者変更により、「臨地実習A(給食基礎)」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1」「講師1」に変更。

・ 担当者変更により、「公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ」「健康管理概論」「公衆衛生学実習」「臨床栄養学Ⅱ」「栄養評価管理実習」「在宅栄養管理理論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。

・ 専門性を高めるために、「食品学実験Ⅱ」について専任教員等の配置に「助教1」を追加。

【令和4年度】

- ・ 担当者の昇任により、「生物学入門」「基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ」「基礎栄養学実験」「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更により、「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」「給食経営管理実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当者変更により、「栄養実習事前・事後演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「講師2」から「准教授4」「講師2」に変更。
- ・ 担当者変更により、「臨床総合演習」の専任教員等の配置を「准教授2」「講師2」から「准教授3」「講師1」に変更。
- ・ 担当者変更により、「管理栄養士への道」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当者変更により、「基礎キャリア教育」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授5」から「教授2」「准教授3」「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

【令和5年度】

- ・ 「家族論」の担当者が「兼任」から「兼任」へ変更したため、表記変更なし。
- ・ 担当者変更及び2名の教授への昇任により、「未来をつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来をつなぐアウトリーチⅠ」「管理栄養士特論A・B・C」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授7」「助教1」から「教授7」「准教授4」「助教2」に変更。
- ・ 「運動の科学」「体育実技」担当者が「兼任」から「兼任」へ変更したため、表記変更なし。
- ・ 「運動生理学」担当者が「兼任」から「兼任」へ変更したため、表記変更なし。
- ・ 担当者の教授昇任により、「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」「調理科学」「食品学実験Ⅱ」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者的変更により、「栄養教育論Ⅱ」「栄養教育論実習Ⅱ」「栄養カウンセリング論」の専任教員配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 担当者の教授への昇任により、「臨床栄養学Ⅰ」「臨床栄養学Ⅲ」「臨床栄養学実習」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者的変更及び教授への昇任により、「栄養実習事前・事後演習」「臨床総合演習」「臨床実習C(臨床)」の専任教員配置を「准教授2」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・ 担当者的変更により、「健康運動学」の教員配置「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 「健康運動実技A(運動プログラム)」「健康運動実技B(ウォーキングとジョギング)」の担当者が「兼任」から「兼任」へ変更したため、表記変更なし。
- ・ 担当者的変更及び教授への昇任により、「基礎キャリア教育」の専門教員配置を「教授2」「准教授3」「助教0」から「教授4」「准教授0」「助教1」に変更。
- ・ 担当者的変更及び教授への昇任により、「専門実践演習(疾病治療・重症化予防)」の専任教員配置を「准教授3」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・ 担当者的教授への昇任により、「専門実践演習(食育・食環境)」の専任教員配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」へ変更。
- ・ 「教育原理」「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」「教育方法論」「教職入門」「教育課程論」担当者が「兼任」から「兼任」に変更したため、表記変更なし。
- ・ 「教育制度論」担当者が「兼任」から「兼任」に変更したため、表記変更なし。
- ・ 「心理学」「教育心理学」「生徒指導論」の担当者が講師から准教授に昇任したが、「兼任」であるため表記変更なし。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
58 科目	44 科目	18 科目	120 科目	58 科目 []	45 科目 [1]	18 科目 []	121 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{120} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用は、愛知学泉短期大学			
	校舎敷地	0 m ²	6,108 m ²	0 m ²	6,108 m ²				
	運動場用地	0 m ²	30,221 m ²	0 m ²	30,221 m ²				
	小 計	0 m ²	36,329 m ²	0 m ²	36,329 m ²				
	そ の 他	0 m ²	16,315 m ²	0 m ²	16,315 m ²				
	合 計	0 m ²	52,644 m ²	0 m ²	52,644 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用は、愛知学泉短期大学				
	6,816 m ² (6,816 m ²)	12,125 m ² (12,125 m ²)	7,158 m ² (7,185 m ²)	26,099 m ² (26,099 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	22 室	10 室	14 室	6 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	家政学部 管理栄養学科		16 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学科単位での特定不能のため大学全体の数		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種					電子ジャーナル〔うち外国書〕	点
		家政学部 管理栄養学科	63,684 [3,461] (76,161 [5,506])	470 [110] (470 [110])	1 [0] (1 [0])	1,361 (1,793)		938 (938)	0 (0)
		計	63,684 [3,461] (76,161 [5,506])	470 [110] (470 [110])	1 [0] (1 [0])	1,361 (1,793)		938 (938)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	1,654m ²		224	171,690					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,762m ²		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費及び設備購入費は届出学科全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,134千円	6,100千円	6,100千円	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	※図書購入費にはデータベースの整備費(運用コストを含む)を含む。	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,428千円	1,148千円	1,148千円	1,148千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		愛知学泉大学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
家政学部家政学科											昭和41	-	令和2年度入学生より学生募集停止					
管理栄養士専攻	4	80	0	320	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成14	愛知県岡崎市袖越町上川成285						
家政学専攻	4	40	0	160	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成14	同上						
こどもの生活専攻	4	70	0	280	学士(家政学)	-	-	-	-	-	平成20	同上						
現代マネジメント学部	4	-	-	-	学士	-	-	-	-	-	平成23	愛知県豊田市大池町汐取1	平成31年度入学生より学生募集停止					
現代マネジメント学科					(現代マネジメント)													
家政学部																		
管理栄養学科	4	80	0	320	学士(家政学)	0.98	-	0.82	-	-	令和2	愛知県岡崎市袖越町上川成285						
ライフスタイル学科	4	40	0	160	学士(家政学)	0.99	-	0.86	-	-	令和2	同上						
こどもの生活学科	4	70	0	280	学士(家政学)	0.63	-	0.56	-	-	令和2	同上						
大学全体	4	190	0	760	-	0.86	-	0.74	-	-	-	-						

大学の名称		愛知学泉短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考						
生活デザイン総合学科	2	130	—	260	短期大学士 (地域総合科学)	1.28	—	1.27	—	—	平成16	愛知県岡崎市 越町上川成285							
食物栄養学科	2	70	—	140	短期大学士 (食物栄養学)	0.88	—	0.89	—	—	昭和25	同上							
幼児教育学科	2	120	—	240	短期大学士 (幼児教育学)	0.57	—	0.56	—	—	昭和54	同上							
大学全体	—	320	—	640	—	0.93	—	0.92	—	—	—	—							

大学の名称		該当なし										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数		平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数		収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考						
	年	人	年次	人		倍		倍	倍	年度	年度								

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<家政学部 管理栄養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】			【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名									
【認可時又は届出時】			【認可時又は届出時】			【認可時又は届出時】			【認可時又は届出時】		
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名									
専任	安藤 明美 (61) <令和2年4月> 修士(保健衛生学)	教授	専任	安藤 明美 (61) <令和2年4月> 修士(保健衛生学)	教授	専任	安藤 明美 (62) <令和2年4月> 修士(保健衛生学)	教授	専任	安藤 明美 (63) <令和2年4月> 修士(保健衛生学)	教授
専任	大島 英穂子 (46) <令和2年4月> 博士(医学)	教授									
専任	瀬尾 芳輝 (65) <令和2年4月> 医学博士	専任 教授	専任	瀬尾 芳輝 (65) <令和2年4月> 医学博士	専任 教授	専任	瀬尾 芳輝 (66) <令和2年4月> 医学博士	専任 教授	専任	瀬尾 芳輝 (66) <令和2年4月> 医学博士	専任 教授
専任	原部 悟 (72) <令和4年4月> 医師	専任 教授	専任	原部 悟 (72) <令和4年4月> 医師	専任 教授	専任	原部 悟 (73) <令和4年4月> 医師	専任 教授	専任	原部 悟 (73) <令和4年4月> 医師	専任 教授
専任	藤 和彦 (51) <令和2年4月> 博士(農学)	専任 教授	専任	藤 和彦 (51) <令和2年4月> 博士(農学)	専任 教授	専任	藤 和彦 (52) <令和2年4月> 博士(農学)	専任 教授	専任	藤 和彦 (53) <令和2年4月> 博士(農学)	専任 教授
専任	山内 理光 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	専任 教授	専任	山内 理光 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	専任 教授	専任	山内 理光 (60) <令和2年4月> 博士(医学)	専任 教授	専任	山内 理光 (61) <令和2年4月> 博士(医学)	専任 教授
専任	浅田 美嗣 (65) <令和2年4月> なし	専任 教授	専任	浅田 美嗣 (65) <令和2年4月> なし	専任 教授	専任	浅田 美嗣 (66) <令和2年4月> なし	専任 教授	専任	浅田 美嗣 (66) <令和2年4月> なし	専任 教授

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 講師	石川 桂子 (60) ＜令和2年4月＞ 家政学士 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食事設計演習 学校栄養指導Ⅰ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境) 学校栄養指導Ⅱ 教職特別講座(栄養教諭) 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 実習指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)※ 管理栄養士特論C※	専 講師	石川 桂子 (60) ＜令和2年4月＞ 家政学士 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食事設計演習 学校栄養指導Ⅰ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境) 学校栄養指導Ⅱ 教職特別講座(栄養教諭) 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 実習指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)※ 管理栄養士特論C※	専 講師	石川 桂子 (61) ＜令和2年4月＞ 家政学士 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食事設計演習 学校栄養指導Ⅰ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境) 学校栄養指導Ⅱ 教職特別講座(栄養教諭) 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 実習指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)※ 管理栄養士特論C※	専 講師	石川 桂子 (62) ＜令和2年4月＞ 家政学士 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食事設計演習 学校栄養指導Ⅰ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境) 学校栄養指導Ⅱ 教職特別講座(栄養教諭) 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 実習指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)※ 管理栄養士特論C※
専 講師	太田 義久 (40) ＜令和2年4月＞ 博士(薬科学) 健康栄養学 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学実習 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 講師	太田 義久 (40) ＜令和2年4月＞ 博士(薬科学) 健康栄養学 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学実習 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 准教授	岡田 雅章 (50) ＜令和3年4月＞ 博士(医学) 健康栄養学 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 准教授	岡田 雅章 (50) ＜令和3年4月＞ 博士(医学) 健康栄養学 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※
専 講師	上島 寛之 (29) ＜令和2年4月＞ 修士(医科学) 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学実習 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習B(公衆衛生・給食応用)※ 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 講師	上島 寛之 (29) ＜令和2年4月＞ 修士(医科学) 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学実習 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習B(公衆衛生・給食応用)※ 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 講師	上島 寛之 (30) ＜令和2年4月＞ 修士(医科学) 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習B(公衆衛生・給食応用)※ 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 講師	上島 寛之 (31) ＜令和2年4月＞ 修士(医科学) 管理栄養士への道 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習B(公衆衛生・給食応用)※ 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※
専 講師	庄司 実香 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(栄養科学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 管理プロセス論 基礎キャリア教育※ 臨床栄養学Ⅱ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 栄養評価管理実習 在宅栄養管理論 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 講師	庄司 実香 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(栄養科学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 管理プロセス論 基礎キャリア教育※ 臨床栄養学Ⅱ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 栄養評価管理実習 在宅栄養管理論 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 臨床総合演習※ 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 准教授	平井 あり (47) ＜令和3年4月＞ 博士(人間生活科学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 栄養管理プロセス論 基礎キャリア教育※ 臨床栄養学Ⅱ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 准教授	平井 あり (49) ＜令和3年4月＞ 博士(人間生活科学) 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 栄養管理プロセス論 基礎キャリア教育※ 臨床栄養学Ⅱ 栄養実習事前・事後演習※ 専門実践実習(食育・食環境)※ 健康栄養情報処理演習 臨床実習A(給食基礎) 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※
専 助教	澤入 敬哉 (27) ＜令和2年4月＞ 修士(応用生物学) 化学入門 化学基礎実験 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食品衛生学 食品衛生学実験 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 助教	澤入 敬哉 (27) ＜令和2年4月＞ 修士(応用生物学) 化学入門 化学基礎実験 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食品衛生学 食品衛生学実験 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 助教	澤入 敬哉 (28) ＜令和2年4月＞ 修士(応用生物学) 化学入門 化学基礎実験 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食品衛生学 食品衛生学実験 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※	専 助教	澤入 敬哉 (30) ＜令和2年4月＞ 修士(応用生物学) 化学入門 化学基礎実験 未来へつなぐアトリーチスタートアップ 未来へつなぐアトリーチ I 食品衛生学 食品衛生学実験 管理栄養士特論A※ 卒業研究 管理栄養士特論B※ 管理栄養士特論C※
兼任 教授	久保田 英朗 (44) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 教職入門 教職実践演習(栄養教諭)※	兼任 教授	久保田 英朗 (44) ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 教職入門 教職実践演習(栄養教諭)※	兼任 教授	龍田 達次 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	兼任 教授	龍田 達次 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ
兼任 教授	近藤 茂明 (65) ＜令和2年10月＞ 修士(教育学) 教育原理 教育方法論 総合的な学習の時間の指導法 教育概論 遠程教育の理論と実践 特別活動の指導法	兼任 教授	近藤 茂明 (64) ＜令和2年10月＞ 修士(教育学) 教育原理 教育方法論 総合的な学習の時間の指導法 教育概論 遠程教育の理論と実践 特別活動の指導法	兼任 教授	近藤 茂明 (65) ＜令和2年10月＞ 修士(教育学) 教育原理 教育方法論 総合的な学習の時間の指導法 教育概論 遠程教育の理論と実践 特別活動の指導法	兼任 教授	近藤 茂明 (65) ＜令和2年10月＞ 修士(教育学) 教育原理 教育方法論 総合的な学習の時間の指導法 教育概論 遠程教育の理論と実践 特別活動の指導法

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・大島教授就任辞退により、後任として瀬尾教授が就任。令和2年4月。

【令和3年度】

- ・太田講師（専任）の辞任に伴い、岡田准教授（専任）に担当者変更。
- ・庄司講師（専任）の辞任に伴い、平井准教授（専任）に担当者変更。
- ・「健康運動実技A」の担当者を鈴木教授（兼任）から塙教授（兼任）に変更。塙教授（兼任）の就任が令和3年10月より令和3年4月に変更。
- ・「教育制度論」の担当者を服部講師（兼任）から木田教授（兼任）に変更。
- ・「社会学」の担当者を西原講師（兼任）から近本教授（兼任）に変更。
- ・「心理学」の担当者を坪田講師（兼任）から山田講師（兼任）に変更。
- ・「教育相談（カウンセリングを含む。）」の担当者を坪田講師（兼任）から伊藤講師（兼任）に変更。
- ・「運動の科学」の担当者を肥田講師（兼任）から長谷川講師（兼任）に変更。
- ・「体育実技」の担当者を肥田講師（兼任）から神田講師（兼任）に変更。
- ・「栄養英語」の担当者を平野講師（兼任）から増田講師（兼任）に変更。
- ・「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」の担当者を浅田教授（専任）から石川講師（専任）に変更。
- ・「食品学実験Ⅱ」の担当者として澤入助教（専任）を追加。
- ・「調理学実習Ⅱ」の担当者を舟橋准教授（専任）から浅田教授に変更。

【令和4年度】

- ・瀬尾教授（専任）の辞任に伴い、服部教授（専任）に担当者変更。ただし「食物とアレルギー」の担当者は増田教授（専任）に変更。
- ・浅田教授（専任）の辞任に伴い、小関准教授（専任）に担当者変更。
- ・竹村准教授（専任）が教授（専任）に昇任。
- ・近藤教授（兼任）の辞任に伴い、「教育原理」「教育方法論」「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」の担当者を竹澤教授（兼任）に、「教育課程論」の担当者を木田教授（兼任）に、「道徳教育の理論と実践」の担当者を前田教授（兼任）に変更。
- ・濱本教授（兼任）の辞任に伴い、「生活経済論」の担当者を村上講師（兼任）に変更。
- ・浦田教授（兼任）の辞任に伴い、「英語」「英会話」「日本語Ⅰ・Ⅱ」の担当者を西川講師（兼任）に変更。
- ・鈴木教授（兼任）の辞任に伴い、「運動生理学」の担当者を堀講師（兼任）に、「健康運動実技C（エアロビックダンス）」「健康運動実技D（水泳・水中運動とレジスタンスエクササイズ）」の担当者を森講師（兼任）に変更。
- ・築山准教授（兼任）の辞任に伴い、「日本国憲法」の担当者を漆畑講師（兼任）に変更。
- ・田中講師（兼任）の辞任に伴い、「家族論」の担当者を近本教授（兼任）に変更。
- ・伊藤講師（兼任）の辞任に伴い、「教育相談（カウンセリングを含む。）」の担当者を竹重講師（兼任）に変更。
- ・「体育実技」の担当者を神田講師（兼任）から堀講師（兼任）に変更。
- ・「ハンブル」の担当者を白講師（兼任）から金講師（兼任）に変更。
- ・「栄養英語」の担当者を増田講師（兼任）から千賀講師（兼任）に変更。
- ・「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」の担当者を石川講師（専任）から小関准教授（専任）に再変更（復活担当）。
- ・「調理学実習Ⅱ」の担当者を浅田教授（専任/辞任）から舟橋准教授（専任）に再変更（復活担当）。

【令和5年度】

- ・岡本准教授（専任）の辞任に伴い、田中助教（専任）に担当者変更。ただし、「健康運動学」の担当者は渡辺講師（兼任）に変更。
- ・林准教授（専任）、舟橋准教授（専任）が教授（専任）に昇任。
- ・竹澤教授（兼任）の辞任に伴い、小野教授（兼任）に担当者変更。
- ・塙教授（兼任）の辞任に伴い、高田講師（兼任）に担当者変更。また、「運動の科学」は長谷川講師（兼任）から高田講師（兼任）へ、「体育実技」は堀講師（兼任）から高田講師（兼任）へ担当者変更。
- ・堀講師（兼任）の辞任に伴い、「運動生理学」は西沢講師（兼任）へ担当者変更。
- ・木田教授（兼任）の辞任に伴い、松橋講師（兼任）に担当者変更。ただし、「教育制度論」の担当者は服部講師（兼任）に変更。
- ・「家族論」担当者を近本教授（兼任）から長講師（兼任）へ担当者変更。
- ・山田講師（兼任）が准教授（兼任）に昇任。

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	7
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	5	4	1	16	5	8	3	3	2	16	5
(6)	(5)	(4)	(1)	(16)	(5)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	3	3	2	16	5	8	3	3	2	16	5
[2]	[Δ2]	[Δ1]	[1]	0	[0]	[2]	[Δ2]	[Δ1]	[1]	0	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	大島 美穂子	R元.6	必修	※※へつなくアウトリーチI	①	R元.6 クリニック開業のため就任辞退(2)			
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①				
				必修	臨床医学I	①				
				選択	健康運動演習	①				
				選択	臨床医学II	①				
				選択	食物とアレルギー	①				
				選択	臨床医学III	①				
				選択	管理栄養士特論A※	①				
				必修	卒業研究	①				
合計(D)				後任補充状況の集計(E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	講師	庄司 史香	R3.3	必修	※※へつなくアウトリーチI	①	R3.3.31付け任期満了のため辞任(3)							
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				選択	栄養管理プロセス論	①								
				必修	基礎キャリア教育※	①								
				必修	臨床栄養学II	①								
				必修	栄養実習事前・事後演習※	①								
				選択	特門実践実習(食肉生産・流通(食下付)※	①								
				選択	栄養評価管理実習	①								
				必修	在宅栄養管理論	①								
				選択	臨地実習A(給食基礎)	①								
				選択	管理栄養士特論A※	①								
				必修	卒業研究	①								
				必修	臨床総合演習※	①								
				選択	管理栄養士特論B※	①								
				選択	管理栄養士特論C※	①								
2	講師	太田 貴久	R3.3	必修	※※へつなくアウトリーチI	①	R3.3.31付け任期満了のため辞任(3)							
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				必修	公衆衛生学I	①								
				必修	公衆衛生学II	①								
				選択	公衆衛生学実習	①								
				選択	管理栄養士特論A※	①								
				必修	卒業研究	①								
				必修	臨床総合演習※	①								
				選択	管理栄養士特論B※	①								
				選択	管理栄養士特論C※	①								
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				必修	※※へつなくアウトリーチI	①								
				3	教授	瀬尾 芳輝		R4.3	必修	※※へつなくアウトリーチI	①	R4.3.31付け自己都合のため辞任(4)		
必修	※※へつなくアウトリーチI	①												
必修	臨床医学I	①												
選択	健康運動演習	①												
選択	臨床医学II	①												
選択	食物とアレルギー	①												
選択	臨床医学III	①												
選択	管理栄養士特論A※	①												
必修	卒業研究	①												
必修	臨床総合演習※	①												
選択	管理栄養士特論B※	①												
選択	管理栄養士特論C※	①												
合計(D)+(F)							後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)					①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
3	人	必修	20				科目		必修	20	科目		必修	0
		選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目				
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
		計	38	科目	計	38	科目	計	0	科目				

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{16} = 18.75 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	浅田 英嗣	必修	未来へつなぐアクティビティ①	①	R4. 3.31付け定年退職 (4)
			必修	未来へつなぐアクティビティ1	①	
			必修	給食経営管理論 I	①	
			必修	給食経営管理論 II	①	
			必修	基礎キャリア教育※	①	
			必修	給食経営管理実習	①	
			必修	栄養実習事前・事後演習※	①	
			選択	専門実践実習(実習予習)※	①	
			選択	臨地実習C(公衆栄養・給食応用)	①	
			選択	管理栄養士特論A※	①	
			必修	卒業研究	①	
			必修	臨床総合演習※	①	
			選択	管理栄養士特論B※	①	
			選択	管理栄養士特論C※	①	
2	准教授	岡本 康子	必修	未来へつなぐアクティビティ①	①	R5. 3.31付け定年退職 (5)
			必修	未来へつなぐアクティビティ1	①	
			必修	健康運動学	②	
			必修	基礎キャリア教育※	①	
			必修	栄養教育論 II	①	
			必修	栄養実習事前・事後演習※	①	
			選択	専門実践実習(実習予習)※	①	
			選択	栄養教育論実習 II	①	
			必修	栄養カウンセリング論	①	
			選択	臨地実習C(臨床栄養)	①	
			選択	管理栄養士特論A※	①	
			必修	卒業研究	①	
			必修	臨床総合演習※	①	
			選択	管理栄養士特論B※	①	
選択	管理栄養士特論C※	①				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	18 科目	必修	17 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	29 科目	計	28 科目	計	1 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 大島美穂子教授の辞任は家政学部管理栄養学科開設前であり、また履修登録前であることから、学生への周知及び学生の履修上の支障はない。後任については専任教員を公募し、瀬尾芳輝氏を教授として令和2年4月1日付けで採用、大島教授が担当予定の当該科目をすべて担当することになった。学生に配布したシラバスも当初より瀬尾氏が担当者となっており、学生が不利益を被ることがないよう対応した。(2) ・ 庄司史香講師及び太田貴久講師の辞任について、当該教員の担当予定科目の担当可能な後任の専任教員を採用した。尚、教員交代の周知については年度初めのオリエンテーション、シラバス等での周知を行った。(3)
 ・ 瀬尾芳輝教授及び浅田英嗣の辞任について、当該教員の担当予定科目をほぼ担当可能な後任の専任教員を採用した。尚、教員交代の周知については年度初めのオリエンテーション、シラバス等での周知を行った。(4)
 ・ 岡本康子准教授の定年退職に伴い、公募による教員採用手続きを事前に行っており、シラバス対応などもスムーズに出来た。学生に対しては事前に説明する時間も十分であったため、教育活動に支障は出なかった。(5)

今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年度)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。(家政学部こどもの生活学科)	【届出】 遵守事項 令和3年度は、定年規程に定める退職年齢に達した専任教員の1名が退職した。引き続き、教員組織編成の年齢バランスを考慮し、教員補充を進めていく。	履行中 学科の教育課程上、必要な教員の教育研究実績等を踏まえ、教育研究の継続性に支障のないよう教員補充を行っていく。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 学生確保に向けたあらゆる 取り組み(系列校及び教育連携校との協議、入試説明会、高校訪問、オープンキャンパス等)を実施した結果、令和3年度の定員超過率0.75倍となり、昨年度の0.37倍から改善したものの、適切な入学者の確保には結びついていない状況である。	履行中 次年度入試においても、学生確保に向けた取り組みを継続し、適正な入学者の獲得に全力を尽くす。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 教育内容の充実を図り、教員採用試験の合格者の増加を目指し一般教養、論文・面接指導を行った結果小学校教員4名、幼稚園教諭・保育士20名で卒業生の9割は教員および福祉関係に就職している。また2022年度における系列校及び教育連携校との具体的な活動を立案、入試説明会、高校訪問、オープンキャンパス等を実施した結果、令和4年度の定員超過率0.66倍で、一昨年度より改善をしたが、適切な入学者の確保には結びついていない状況である。	履行中 次年度は、教育内容の充実をさらに図り、入試においても、学生確保に向けた取り組みを継続し、適正な入学者の獲得に全力を尽くす。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(家政学部こどもの生活学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 教育内容の充実をさらに図った結果、専門職として就職した学生の増加につながった(小学校教員8名、幼稚園教諭・保育士24名)。この活動と共に、学生確保に向けた新たな取組みとして、系列高校との単位互換制度新設、オープンキャンパス実施方法の改善、高校訪問の拡充等を行った。その結果、令和5年度の入学定員超過率は0.74倍と前年よりは向上したが、依然回復したとは言えない状況である。	履行中 現在、当該学科のみならず、大学の教育活動を広報するため、SNSを活用した広報活動に重点を置き、高校生へのアピール力を強化する取組みを展開している。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<家政学部 管理栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学内部質保証委員会規程 ・愛知学泉大学FD委員会規程 ※別紙関係規程 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学内部質保証委員会 構成員: 学長(委員長)、副学長、学部長、各学部長、教務委員長、学生委員長、就職委員長、事務局長、事務長 学長が委員長として、第3クールの日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける準備として開催。 ・愛知学泉大学FD委員会は、FD委員会規程の活動内容について毎月開催。 構成員: 学長(委員長)、副学長、学部長、教務委員長、各学部長、事務局長、IR室長、教務課職員 学部長が中心になってWGを組織し、効率的にFD活動を実施している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知学泉大学愛知学泉大学内部質保証委員会 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価への対応、大学独自の外部評価に関する事項 ・3つのポリシー委員会 3つのポリシーの検証、アセスメントポリシーの評価・改善について ・愛知学泉大学FD委員会 授業アンケート実施について 学部における組織的な研修会の実施について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価基準6項目にわたる自己点検・評価活動・各基準の担当者を決め、令和3年度の各種資料データ収集と報告書の作成準備をしている。 2. アセスメントポリシーは、内部質保証委員会で機関レベル・教育課程レベル・科目レベルの評価をしている。 3. 「学生による授業評価アンケート」については、③に記述する。 4. 公開授業については、FD委員会を中心に対面授業におけるpisa型学力の授業について実施した。全教員が参加している。 5. 新任教員研修は、研修後に新任者研修レポートを作成し、対象教員全員が提出している。 6. 教員の研究・教育活動報告は、2022年度T・Pを全教員が2021年度版をブラッシュアップした。その後、FD委員会で内容確認後HPで公表している。 7. 安城学園報告討論会は、約300名の教職員が参加し、大学、短期大学、高等学校、幼稚園の教育研究活動の現状を把握することで個々の教職員の教育活動の質の改善を図っている。しかし、コロナウイルス感染症予防の観点から全大会の開催は見送りとしている。 8. 学生対応のためのFD研修会を実施 ・休学者、退学者の減少に向けて、学生への向き合い方に関する教職協働による研修会を開催し、大学及び短大全教職員が参加した。 9. 2023年度シラバスの充実を図る研修会を実施し、全教員が参加している。 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価基準6項目(基準1 使命・目的等、基準2 学生、基準3 教育課程、基準4 教員・職員、基準5 経営・管理と財務、基準6 内部質保証)にわたる自己点検・評価活動を実施し、「愛知学泉大学自己評価報告書」を作成してHPで公表。 2. アセスメントポリシーは、機関レベル・教育課程レベル・科目レベルで評価。 3. 「学生による授業評価アンケート」は、前後期、全開講科目を対象にマークシートおよび自由記述で実施。 4. 教員間の公開授業は、毎学期、テーマをきめて全教員を対象に実施している(非対面授業(遠隔)におけるpisa型学力の授業展開)。 5. 教員研修は、毎年4月上旬に新任者研修会を実施し、理事長、学部長、事務局長による研修を実施。 6. 教員の研究・教育活動報告は、ティーチング・ポートフォリオ(T・P)、教育研究報告を作成。 7. 安城学園報告討論会は、令和4(2022)年度は新型コロナ感染症予防より全大会は中止となった。 8. 学生対応のためのFD研修会は、大学所属のカウンセラーによる学生の現状、対応方法に事例に基づき、全教職員が出席して実施した。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛知学泉大学愛知学泉大学内部質保証委員会は不定期に年6回開催した。規程による構成員だけではなく、関係の分掌(教務課、学生課、総務課等)から出席をし、教職協働で会務に当たるようにしている。 2. 愛知学泉大学FD委員会が主催した「シラバスの充実を図る研修会」には、全教員と教務課、IR室員が参加した。また、「休学者・退学者減少に向けた研修会」は大学及び短期大学の全教職員が参加して開催した。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部質保証に向けた取組として、年度の事業計画を検証し直し、修正を加えるなどPDCAサイクルを実践した。 ・授業への改善は、上記の実施結果を経て、FD委員会を中心にして組織的、個別に行っている。 ・卒業認定にGPAの活用を検討し、2022年度のFD委員会ではGPA1.0以上を提案した。 ・成績評価の平準化を検討している。2020年度のFD委員会では過去5年間の全科目の成績評価のGPAを算出し、秀、優、良、可、不可の割合をそれぞれ、10%、30%、35%、25%とした。 ・全教員に「教育・研究活動に関する事業報告書」より、次年度の改善計画を作成し、実施している。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートは、全開講科目で実施している。実施時期は前期・後期ともに14週から15週の授業時に実施して <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による授業評価アンケート結果を元に授業改善のリフレクションペーパーを作成している。 ・授業評価アンケートは、全開講科目を対象として実施、その後、数値データを集計して結果を出し、各授業に対して出された評価に対して科目担当教員は、評価を1レベル上げる授業改善のリフレクションペーパーを作成、その後、冊子として学生が閲覧できるように図書館窓口と教務課窓口に常置している。 ・各学科の授業評価アンケートの結果と授業改善報告はHPで公表している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<p>① 体制</p> <p>a 委員会の設置状況 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)</p> <p>b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>d その他</p> <p>② 審議状況</p> <p>a 審議した内容</p> <p>記入例)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容 <p>b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況</p> <p>c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況</p>

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 本学の自己点検・評価は、平成29年度の日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審した。評価の結果、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定された。

総評
 「基準1. 使命・目的等」について
 大学は、経済的・政治的・文化的に自立した社会人の育成によって地域と国際社会に貢献することを使命・目的としており、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力（課題解決型学力）の三つを核にした独自の教育実践を各学部・学科・専攻の教育目標に反映させ、学内外に明示している。また、社会情勢の変化に対応した教育体制の改編にも努めている。大学の使命・目的及び教育目的の点検や改定は、全学的な取組みとして実施しており、役員及び教職員の理解と支持を得て、学内外への周知が図られている。また、それらは三つの方針（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）や法人の中長期計画に反映されており、その達成のための実践的な教育研究組織が整備されている。

「基準2. 学修と教授」について
 大学のアドミッションポリシーは受験生や関係者に周知されており、改組を前提とした教育内容の見直しや募集対策の強化など入学定員の確保に努力している。教育課程は教育目的に基づいて編成されており、指導教授制などによる学生の学修支援に加え、休学、退学などに対する生活指導についても、教職員による協働の体制を整えている。単位認定、進級等は、学則、履修の手引きに基準を明示し、厳格に運用されており、GPA(Grade Point Average) 制度も活用している。また、社会的・職業的自立につながるキャリア教育にも力を注いでおり、就職支援体制を整備し、高い就職率を維持している。大学設置基準に定める教員数は確保されており、昇任規則等も定められている。FD (Faculty) 活動は学部ごとに実施されており、教養教育については「基礎科目」として位置付け整備している。バリアフリーや耐震工事、校舎の改修など教育環境の整備を推進しており、クラス編制については少人数制による工夫を図っている。

「基準3. 経営・管理と財務」について
 管理運営体制は、寄附行為及び諸規則に基づいて適切に機能しており、大学の使命・目的の実現のための継続的な努力がなされている。各関連官庁からの法改正等について定期的に確認し法令の遵守に努めている。環境保全や人権等に関する各種の規則を整備しており、教育情報や財務情報は学内外に広く公表している。理事会のもとに、その補佐体制として「常任理事会」を置き、大学の使命・目的の達成に向けての戦略的意思決定が迅速にできる体制を整備している。また、学長のリーダーシップによる大学運営の組織が確保されており、経営部門と教学部門は円滑に連携している。財務基盤については、中期経営改善計画に基づく経営改善には、中期経営改善計画に基づく経営改善に取組んでおり、会計処理及び組んでおり、会計処理及び会計監査も適正に行われている。会計監査も適正に行われている。

「基準4. 自己点検・評価」について、自己点検・評価について
 自己点検・評価は、学則及び「愛知学泉大学自己点検・自己評価委員会規程」ののっとり実施しており、日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の周期や評価内容を基にした大学機関別認証評価の周期や評価内容を基準としている。エビデンスについては、自己点検・評価として大学独自に実施している各評価として大学独自に実施している各部門の「事業報告書」を活用しており、部門の「事業報告書」を活用しており、PDCAサイクルの仕組みとしても機能している。サイクルの仕組みとしても機能している。平成29(2017)年度より年度よりIR(Institutional Research) (Institutional Research) 室が設置され、各部門での管理であら設置され、各部門での管理であったデータの収集と分析の一元化を図っており、自己点検・評価の結果及び内容は全学的なデータの収集と分析の一元化を図っており、ホームページ等によって外部にも公表している。総じて、大学の教育は、その使命・目的に基づいた各学科の教育目標に向かって適切に運営されており、学修と教授に関しては、運営されており、学修と教授に関しては、独自の教育内容の実践による社会人養成独自の教育内容の実践による社会人養成を目指し大学として大学として、十分に個性を發揮十分に個性を發揮してしている。経営・管理と財務については、法令遵守に努めながら教育改革めながら教育改革の体制体制の再構築の再構築と経営の安定化を目指しておりと経営の安定化を目指しており、自己点検・評価に関し、自己点検・評価に関しても、大学改革の推進力として位置付けても、大学改革の推進力として位置付け、堅実に努力している。堅実に努力している。

② 自己点検・評価報告書
 a 公表（予定）時期
 ・令和5年6月30日 公表予定

b 公表方法
 ・自己点検・評価報告書を刊行する。
 ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画
 ・令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫
 b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
 c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫
 d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。